グルノーブル便り

—第16回国際天文学連合総会—

成　相　恭　二

ここグルノーブルは1968年に冬季オリンピックが催された所で，フランスの冬のスポーツの中心地です．山が近いせいか天気は変りやすく，IAUの会期中毎日のように朝は快晴，午後からは雲がでて来て夕方には雷雨というような日が続きました．特に会期の真中にはさまった土，日曜にはあちこちの天文台や近くの観光地などへのエクスカーションがあったのですが，2日とも雨が降り続きで残念でした．

IAU (International Astronomical Union, 国際天文学連合）の総会とはどういうものか初参加者として私が見たり聞いたりしたことをもとにして御紹介しましょう．御承知の方も多いと思いますが，この総会は3年毎に開かれており，今度が第16回に当ります．前回の1973年はオーストラリアのシドニーでした．この次の1979年はカナダのモントリオールで開かれる予定です．天文学の最近の発展を反映して参加者の数は増える一方で，今回は2千人を越していたようです．参加できるのはIAUのメンバーとその同伴者，それに加盟国の関係機関（日本では学術会議，天文学研究連絡委員会）から推せんされたものです．それぞれ違う色のバッジをつけているので一目でわかります．日本からの参加者は30名近くいたのですが，その中で同伴者がいたのは外国滞在中だった東京天文台の青木さんと京都大学の松田さんの2人だけだったようです．他の国からの参加者の半数近くが夫婦で来ているのに比べるといかにも少なく，日本は経済的に豊かになってきているとはいうもののまだゆとりがないのだなあと感じます．大きな会議では同伴者が退屈しないようにレディズ・プログラム(Lady's program)と称するものがあって，市内の観光やピクニックなどで時間をつぶすようになっているのですが，色付きバッジは参加者の中の不心得者がすこし会議をさぼってそちらにもぐりこもうとするのを心理的にけん制する役目もしているようです．

さて総会は8月24日（火）の開会式に始まり，9月2日（木）の閉会式までの10日間でした．開会式は数千人は楽に収容できるスケート場で行われました．5人の金管楽器のアンサンブルがバロック音楽を演奏していよいよ式は始まります．州知事や市長，大臣の次位に偉い文部省の長官（クレオパトラみたいな美人）などのあいさつが続きます．もちろんIAUの公用語の一つであるフランス語です．最後にIAUのプレジデントのゴールドベルグもフランス語であいさつしました．バロック音楽が奏されてから休憩．そのあとはIAUメンバーだけの総会です．加盟国代表が右側前2列に座るほかは日本天文学会の総会とあまり変りません．しかし，プレジデントが演説の中で中国の加盟，不参加の経緯を説明した所だけは皆さんにお伝えしておこうと思います．「中国は1950年代の初めにはIAUに加盟していたのだが，台湾がIAUに加盟したら国の方針に従って抜けてしまった．この任期中にいろいろ努力したのだがIAU，中国が双方共納得のいくような合意が得られなかったのは残念である．我々はややもするとこういう政治的な問題にまきこまれてしまいそうになるが，IAU本質的には政治とは無関係である．中国は現在はIAUに加盟していないが，もし皆さんの中で中国の天文学上の友人と連絡する機会があれば暖かい気持で接して上げて欲しい」というような趣旨だったと思います．この日は午前中の式で終り，各国代表は午後からも会議があったようですが我々は町にでてゆっくりと食事をし，翌日からの会議に備えました．

翌25日からは20位の会場をつかって40位の委員会が単独で事務や学術のミーティングを行ったり，合同でジョイント・ディスカッションを行ったりするのでどこに行けば良いのか迷ってしまいます．各委員会とも最初は事務ミーティングを開いて役員交替，今後の方針をきめるようです．私も自分の関係する委員会に出てみました．正副委員長，オーガナイジング・コミッティーのメンバーなど大体は前もってきめてあるようですが，会場でもけっこう意見のやりとりがあって，新しく委員になる人もいれば辞退する人もいます．また関係のあるシンポジウム等方針についてもかなり意見が交されます．こういう学術行政的な事は出席しないと細かい所までは理解できないので，私よりも少し年輩の人にはなるべく出て貰いたいものだと思いました．

学術セッションの方はレビューが多いこと，特に合同の場合聴衆が多すぎることなどで期待していた程には面白くありませんでした．私の場合はIAU総会後にパリの天体物理学研究所で行われた新星についての研究会では発表したのですが，IAUの方は"見る"だけだったのでそのせいもあります．委員会によって各人に研究発表させる所とそうでないところとありますので，これから参加する若い人は自分の関係する委員会のことを前もってよく調べておかれた方が良いようです．（次頁下段へ続く）